

令和4年度

官庁営繕関係予算決定概要

令和3年12月

国土交通省
大臣官房官庁営繕部

令和4年度官庁営繕関係予算の基本方針

官庁施設については、老朽化した施設が今後も増大していく中、既存施設の最大限の活用を図りつつ、災害に対する国民の安全・安心の確保等に的確に対応することが重要です。

このため、令和4年度においては、令和3年度補正予算と合わせ、南海トラフ巨大地震、首都直下地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等に備えた防災・減災対策を推進するため、防災拠点となる官庁施設の防災機能の強化等を図るとともに、既存官庁施設をより長く安全に利用しトータルコストの縮減等を実現するため、老朽化の進行を防ぐ長寿命化事業等を実施します。

また、事業の実施に当たっては、グリーン社会の実現に向け、環境負荷低減に資する技術を積極的に取り入れ、脱炭素化を推進します。

1. 防災拠点となる官庁施設の防災機能の強化等

8,366百万円(0.79)

※上記の他、令和3年度補正予算2,113百万円。合計10,479百万円(0.99)

国民の安全・安心の確保

【災害に屈しない強靱な国土づくりのための防災・減災、国土強靱化の強力な推進】

<南海トラフ巨大地震、首都直下地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震対策等の推進>

- (1) 地域と連携した防災拠点等となる官庁施設の整備の推進
- (2) 官庁施設の耐震化の推進
- (3) 官庁施設の天井耐震対策の推進
- (4) 官庁施設の津波対策の推進
- (5) 災害応急対策活動に必要となる官庁施設の電力の確保等の推進

2. 官庁施設の老朽化対策等

9,190百万円(1.32)

国民の安全・安心の確保

【インフラ老朽化対策等による持続可能なインフラメンテナンスの実現】

- (1) 官庁施設の長寿命化の推進
- (2) 既存官庁施設の危険箇所、経年劣化が著しい部位等の解消

社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大

【2050年カーボンニュートラル等グリーン社会の実現に向けた施策の展開】

<ZEH・ZEBの普及や木材活用、ストックの省エネ化など住宅・建築物の省エネ対策等の強化>

- (3) 既存官庁施設の脱炭素化の推進

[官庁営繕費 計 17,556百万円(1.00)]

令和4年度官庁営繕関係予算総括表

(単位：百万円)

区 分	令和4年度	対前年度 倍 率	前 年 度
	(A)	(A/B)	(B)
(一般会計)			
官庁営繕費	17,556	1.00	17,532
庁舎整備	4,906	0.71	6,913
施設特別整備	10,645	1.25	8,499
設計監理費等	2,006	0.95	2,120
(財政投融资特別会計 特定国有財産整備勘定)			
特定国有財産整備費	21,371	1.52	14,064
<u>合 計</u>	38,927	1.23	31,596

- (注) 1. 上記のほか、行政経費として227百万円（前年度 364百万円）があり、その他、デジタル庁一括計上分として24百万円（うち官庁営繕費関係1百万円）がある。
2. 特定国有財産整備特別会計については、特別会計改革に伴い一般会計に統合されており、平成21年度以前の特定国有財産整備計画に基づき実施される既往の事業（未完了事業）は、当該事業が完成するまでの間、財政投融资特別会計特定国有財産整備勘定において経理を行うこととされている。
3. 庁舎整備とは施設の更新等であり、施設特別整備とは施設の改修等である。
4. 計数はそれぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合がある。
5. 計数は、整理の結果異動することがある。